

報告事項コ

「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」における鳥取聾学校生徒の入賞について

「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」における鳥取聾学校生徒の入賞について、別紙のとおり報告します。

平成27年9月7日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」における鳥取聾学校 生徒の入賞について

平成 27 年 9 月 7 日
特別支援教育課

8月29日に東京都内（有楽町朝日ホール）で開催された「第32回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」において、鳥取県立鳥取聾学校の生徒が下記の成績を修めましたので報告します。

記

- 1 入賞者：鳥取県立鳥取聾学校 高等部2年 新井ほのか（あらいほのか）
- 2 成績：第3位 ※10位以内に聾学校の生徒が入ったのは全国初
※鳥取聾学校は平成26年度より応募している。
- 3 内容：演題「勇気から広がる喜び」
(在籍していた鳥取聾学校ひまわり分校小学部5年生時に、交流していた小学校の友だちの前で、勇気を出して自らの聴覚障がいについて話をした経験を振り返り、一歩踏み出したことで得られた喜びを伝えたスピーチ)

「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」について

- ・手話の習得やサークル活動に取り組む全国の高校生の活動を奨励するとともに、手話の普及と福祉活動の推進を図るため1984年に第1回目が開催され、本年度第32回を迎えた。(全国聾学校長会が後援を始めた2008年から聴覚障がいの者の参加が増加)
- ・コンテストには弁論原稿と映像による審査を経て選抜された10名が出場し、手話と音声によるスピーチ及び手話と音声による審査員との質疑応答を行い、表現力や手話技能を競う。(本年度の応募者は62人)
- ・主催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞厚生文化事業団、朝日新聞社
後援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団、日本手話通訳士協会、全国聾学校長会
協力：東京都聴覚障害者連盟
協賛：NEC